

平成 2 0 年 度

東 濃 西 部 広 域 行 政 事 務 組 合
一 般 会 計 、 特 別 会 計 歳 入 歳 出
決 算 審 査 意 見 書

東 濃 西 部 広 域 行 政 事 務 組 合 監 査 委 員

東 広 監 第 1 号
平成 2 1 年 7 月 1 4 日

東濃西部広域行政事務組合
管理者 多治見市長 古 川 雅 典 様

東濃西部広域行政事務組合

監査委員

監査委員

平成 2 0 年度東濃西部広域行政事務組合一般会計、特別会計
歳入歳出決算審査意見書の提出について

地方自治法(昭和 2 2 年法律第 6 7 号)第 2 9 2 条において準用する同法第 2 3 3 条
第 2 項の規定により審査に付された平成 2 0 年度東濃西部広域行政事務組合一般会計、
特別会計歳入歳出決算について審査した結果、次のとおり意見を付して提出します。

1 審査の期日 平成21年 6月29日

2 審査の対象

- (1) 平成20年度東濃西部広域行政事務組合一般会計歳入歳出決算
- (2) 平成20年度東濃西部視聴覚ライブラリー事業特別会計歳入歳出決算
- (3) 平成20年度東濃西部ふるさと活性化基金特別会計歳入歳出決算
- (4) 平成20年度東濃看護専門学校事業特別会計歳入歳出決算
- (5) 平成20年度東濃西部少年センター事業特別会計歳入歳出決算
- (6) 平成20年度東濃地域医師確保奨学資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算
- (7) 平成20年度東濃西部広域行政事務組合各基金運用状況

3 審査の結果

審査に付された決算書に基づき、歳入歳出関係諸帳簿並びに証拠書類を照合した結果、決算計数は符合して誤りのないことを確認した。

4 決算の概要

平成20年度における当組合の6会計の決算総額は、歳入 547,235,441 円、歳出 540,328,738 円で歳入歳出差引額は、6,906,703 円で、主なものとして、一般会計で 1,803,653 円、看護学校特別会計で 3,835,490 円となっている。

主な歳入財源である各市負担金については、総合計が 417,748,500 円で、全体の 76.3% を占めており、圏域住民一人あたり 1,887 円の負担となっている。

(1) 一般会計

歳入について

第1款 分担金及び負担金

一般経費負担金として 36,329,000 円、情報システム統合事業負担金として 248,756,500 円が収入となっている。

各市の負担金は次のとおりである。

(単位:円)

	多治見市	瑞浪市	土岐市	合計
一般経費	14,946,000	9,976,000	11,407,000	36,329,000
情報システム統合	188,853,083	59,903,417		248,756,500
合計	203,799,083	69,879,417	11,407,000	285,085,500

第2款 使用料及び手数料

畜犬登録手数料、注射済票交付手数料及び再交付手数料として、10,780,900 円が収入となっている。

第4款 繰越金

前年度繰越金として、3,699,617 円が収入となっている。

第5款 諸収入

雑入で嘱託職員の雇用保険個人負担分 29,006 円となっている。

歳出について

第1款 議会費

当年度組合議会は定例会2回が開催されている。支出済額 144,295 円のうち主な支出は議員報酬の 117,000 円であった。

第2款 総務費

総務費は予算現額 292,049,000 円に対し、支出済額が 286,878,176 円となっている。主な支出は一般管理費で職員等の人件費 34,677,332 円、多治見市と瑞浪市で進めてきた情報システム共同運用事業の情報システム管理費として、委託料 127,927,800 円、使用料及び賃借料 120,481,200 円となっている。

第3款 衛生費

衛生費は予算現額 10,910,000 円に対し、支出済額が 10,768,899 円となっている。主な支出は3市への畜犬登録事務交付金が 6,623,684 円、嘱託職員の人件費が 2,731,992 円である。

(2) 視聴覚ライブラリー事業特別会計

歳入について

第1款 分担金及び負担金

運営費負担金として 2,143,000 円が収入となっている。

各市の負担金は次のとおりである。 (単位:円)

多治見市	瑞浪市	土岐市	合計
1,090,000	432,000	621,000	2,143,000

第2款 繰越金

前年度繰越金として 170,385 円が収入となっている。

第3款 諸収入

雑入として教材紛失時実費弁償 4,597 円が収入となっている。

歳出について

第1款 教育費

歳出総額は 2,027,280 円となっており、主な支出は多治見市文化振興事業団への窓口業務委託料で 735,000 円、DVD の購入費などの備品購入費で 1,093,050 円となっている。

本年度のビデオ等利用状況は次のとおりである。前年度と比較して利用人員は、1,504 人の減少となっている。

	20年度	19年度	比較
利用本数 (本)	2,065	1,836	229
貸出件数 (件)	1,159	1,151	8
利用人員 (人)	18,999	20,503	1,504

(3) ふるさと活性化基金特別会計

歳入について

第3款 財産収入

ふるさと活性化基金の運用利息として、9,392,188 円が収入となっている。

第4款 繰越金

前年度繰越金として4,089,273円が収入となっている。

第5款 諸収入

広域自主研修助成金等で774,000円が収入となっている。

歳出について

第1款 総務費

歳出総額は13,037,926円となっており、主な支出は、3市への地域振興事業補助金3,000,000円、国際陶磁器フェスティバル美濃08への補助金5,000,000円、広域自主研修事業委託料として1,943,682円となっている。

平成20年度の補助対象事業及び補助金額は次のとおりである。

事業名	補助金額(千円)
みんなでてりゃあ夏まつり(多治見市)	1,500
健康まつり(瑞浪市)	600
第21回織部の日記念事業(土岐市)	700
第29回陶史の森まつり(土岐市)	200
国際陶磁器フェスティバル美濃08	5,000

また、平成20年度広域自主研修の実施結果は次のとおりである。

研修内容	対象	受講者数
文書作成能力向上研修	一般職員	24名
コーチング研修	一般職員	24名
政策法務研修	一般職員	22名
プレゼンテーション研修	一般職員	15名
メンタルヘルス研修	一般職員	48名

(4) 東濃看護専門学校事業特別会計

歳入について

第1款 分担金及び負担金

運営費負担金として64,807,000円、施設費負担金として26,303,000円が収入となっている。

各市の負担金は次のとおりである。(単位:円)

区分	運営費負担金	施設費負担金	計
多治見市	21,359,000	11,205,000	32,564,000
瑞浪市	7,804,000	4,274,000	12,078,000
土岐市	35,644,000	10,824,000	46,468,000
合計	64,807,000	26,303,000	91,110,000

第2款 使用料及び手数料

使用料及び手数料は22,599,000円で、主な内訳は授業料17,280,000円、入学金4,100,000円、入学試験料610,000円となっている。

第3款 財産収入

看護専門学校財政調整基金の平成19年度末残高22,793,459円の運用利息として60,493円が収入となっている。

第4款 繰越金

前年度繰越金として1,000,000円が収入となっている。

第5款 諸収入

諸収入は8,575,773円で主な内訳は、教材実習費3,024,000円、施設整備協力金5,250,000円となっている。

歳出について

第1款 衛生費

歳出総額は96,336,362円となっており、主な支出は職員等の人件費67,003,308円、非常勤講師等報酬5,678,130円、消耗品、光熱水費、修繕料などによる需用費6,201,810円、施設清掃、空調設備点検等の委託料7,616,020円、学生用パソコン更新などの備品購入費4,296,810円、その他学校運営に係る費用となっている。

第2款 公債費

公債費として元金20,633,482円、利子5,668,932円を支出した。

公債費の支出及び平成20年度末未償還元金は次のとおりである。(単位:円)

区 分	支 出 内 訳		借 入 年 月 日	20年度末未償還元金
	元 金	利 子		
普 通 債	1,012,961	232,559	H5.5.7	4,522,944
〃	19,620,521	5,436,373	H6.5.6	111,659,719
計	20,633,482	5,668,932		116,182,663

(5) 少年センター事業特別会計

歳入について

第1款 分担金及び負担金

運営費負担金として14,010,000円が収入となっている。

各市の負担金は次のとおりである。(単位:円)

多 治 見 市	瑞 浪 市	土 岐 市	合 計
7,404,000	2,613,000	3,993,000	14,010,000

第3款 繰越金

前年度繰越金として、738,741円が収入となっている。

第4款 諸収入

嘱託職員雇用保険の自己負担分として43,968円が収入となっている。

歳出について

第1款 教育費

歳出総額は14,045,412円で、主な支出は職員等の人件費8,376,078円、指導員巡回旅費1,997,000円である。

年度別の指導状況及び少年相談件数は次のとおりである。

	平成20年度	平成19年度	比 較
指導回数 (回)	628	614	14
指導員延人員 (人)	2,043	2,028	15
指導件数 (件)	100	127	27
電話相談 (件)	83	75	8
面接相談 (件)	8	0	8
メール相談 (件)	44	64	20

(6) 東濃地域医師確保奨学資金等貸付事業特別会計

歳入について

第1款 分担金及び負担金

運営費負担金として25,400,000円の収入となっている。

各市の負担金は次のとおりである。

(単位：円)

多治見市	瑞浪市	土岐市	中津川市	恵那市	合計
5,080,000	5,080,000	5,080,000	5,080,000	5,080,000	25,400,000

第2款 県支出金

県支出金として岐阜県市町村振興補助金25,000,000円の収入となっている。

第3款 繰入金

基金繰入金として39,400,000円の収入となっている。

歳出について

第1款 衛生費

歳出総額は89,794,364円で、主な支出は平成20年度10名分の貸付金39,000,000円、東濃地域医師確保奨学基金積立金50,400,000円となっている。

(7) 各基金運用状況

東濃看護専門学校財政調整基金

本基金は東濃看護専門学校施設の整備改善、災害若しくは事故により生じた経費の財源又はやむを得ない理由により生じた経費の財源に充てるために設置されたものである。

平成19年度末現在高は22,793,459円で、これに対する決算年度中の基金運用収入60,493円を積立て、平成19年度決算剰余金のうち1,675,475円を基金に繰入れ、学生用パソコン更新費用3,129,000円を取り崩し、平成20年度末基金残高は21,400,427円となっている。

ふるさと活性化基金

本基金は東濃西部地域の振興整備の事業に資するため設置されたものである。

平成20年度の運用収入は9,392,188円となっており、各種事業に充当されている。また、今後の支払いに備えるため、1,917,000円を積み立て、年度末残高は1,001,917,000円となっている。

東濃地域医師確保奨学基金

本基金は東濃地域医師確保奨学資金等の貸付のための経費に充てるために、設置されたものである。

各市からの負担金及び県振興補助金を積み立て、平成20年度貸付額及び事務費を取り崩し、平成20年度末基金残高は、61,000,000円となっている。

5 指摘事項

特に是正すべき指摘事項はないが、要望事項としては次のとおりであるので、今後この要望事項に留意され事務に取り組みたい。

ふるさと活性化基金

補助対象事業の総事業費の妥当性、目的についてチェックすること。事業の成果はすぐには分からないかもしれないが、目的に掲げられた成果があったかどうかまで検証できるとよい。各市の担当者と事業について協議しながら確認作業等行えるとよい。

看護専門学校
退学者が多い。退学の理由については何らかの要因があると思われる。原因究明を行い、少しでも退学者が減らせるよう対応すること。

瑞浪市からの学生が少ないが、要因を分析するなど、圏域内学生の確保に努力すること。

少年センター

少年センター以外の他の組織・機関と連携し、各機関の職員が、職務として対応できるような体制づくりを目指してほしい。

少年センターの目的を、非行防止をメインに活動するのか、悩み全般の解消等相談業務をメインに活動するのか明確にする必要があるのではないかと。相談業務について、その目的を達成できる体制づくりをしてほしい。

東濃地域医師確保奨学資金

国公立大学と私立大学は、圧倒的に学費が違う現実がある以上、大学による貸付金額の差があってもよいと考える。一般家庭からでも私大医学部に行けるような制度であってほしい。再度、検討をお願いしたい。

返還義務が生じたときの金利 7.3%については高すぎないか。ペナルティ的な要素を排除し、低い利率でよいと思うが、全国的に事例を検証し、再度検討をお願いしたい。

全般

今後の組合の方向性について、圏域住民全般にわたる業務を推進していくべきである。事務局及び各市及び議会でも十分に検討していただきたい。